

市庁舎整備についての意見募集でお寄せいただいたご意見です。（平成27年8月10日現在）

性別	年齢	現在と同じ場所で庁舎を新築した方がよいと思うか	その理由	市庁舎整備についてのご意見・ご提案（全文掲載ではありません。ご了承ください。）	市庁舎に求める機能
男性	70歳以上	(-)	(-)	現在の庁舎位置は柏原町と国分町が合併したときに然るべき手続きにより決定した経緯がある。この手続きが現在も有効かどうかを確認しなければならない。有効の場合は、民間企業の資金を活用して複合施設を建設。有効でない場合、駅周辺にある公共施設を統廃合して庁舎用地を確保し、にぎわい創出すれば良いと考える。建設費用確保のため用地売却も考えられるが、できれば広場や防災拠点を整備してもらいたい。	(-)
男性	60～69歳	思う	市域のほぼ中心で市民の利用に公平感があるから	庁舎、教育センター、別館は耐用年数を迎え、減価償却されているのか。取壊し費用や建設費用等の精査を行い、最小費用で最大効果が期待できる整備計画を立てること。将来的な構想、市民の意見等を勘案しながら検討しなければならない。一度建設すると莫大な費用がかかる。	(-)
男性	70歳以上	思う	市域のほぼ中心で市民の利用に公平感があるから	(-)	(-)
男性	70歳以上	思う	市域のほぼ中心で市民の利用に公平感があるから	庁舎が分散していると何かと不便だし、職員の稼働にもロスが多くなるので効率の良くなる動線を追求してください。	災害時の拠点 ワンストップの窓口 セキュリティーの高い施設
男性	70歳以上	思う	新たな用地取得の必要がないから	①将来の人口減に備えた市役所のスリム化に先ず取り組むべき。その結果、建物の必要容積を割り出し、現状で足りるなら耐震補強と改装で良い。財政負担を最小限にすべき。 ②耐震化されたリビエールホールの講座室などを廃止し、市役所機能とすべき。危機管理の部署をリビエールホールに移したことは良い。 ③近い将来、近隣の市との合併が必ず有り得る。その時点での市役所構想が見えない。したがって、それまでのつなぎになる。よって、現時点では費用を抑えて財政負担を最小限にすべき。	災害時の拠点 町会、自治会、市民団体等の活動拠点
男性	30～39歳	思わない	(-)	現在の庁舎は、1階に市民課をはじめとする窓口がすべてあるため、生活保護を受けていたり障がい者であることなど知られたくないことが知られるので苦痛を感じる。新しい庁舎では、生活保護や障がい者の窓口を別のフロアにして、このような苦痛を感じない配慮を望む。	(-)
男性	60～69歳	どちらかといえば思う	市域のほぼ中心で市民の利用に公平感があるから	次世代にできるだけ負担を残さない計画策定を、また、財政がひっ迫の一途をたどっている中、建設コストは低く抑える必要があると考えます。 大胆な行財政改革(見直し)を行った上、市民理解を得て進めてほしい。なくてはならない市有財産以外は売却するなど視野に入れるべきです。	誰もがストレス無く利用できる憩いの空間を備えた施設 ワンストップの窓口 議会に参加しやすい傍聴席
女性	20～29歳	思う	市域のほぼ中心で市民の利用に公平感があるから	人口減少の折、豪華な庁舎ではなく、民間力を活用するなど、出来るだけ経費を抑えたコンパクトな庁舎を検討してほしい。	災害時の拠点町会 コンビニや銀行等、市民の利便性を高めた施設
男性	60～69歳	思わない	多額の費用がかかるから	現在の敷地に建設するのは賛成ですが、規模については疑問があります。 現庁舎の3階、塔屋、飾り等を解体して建物の重量を軽くすると耐震性能が上がり、現庁舎を残すことができれば、建設する規模が小さくなると考えます。丈夫で質素な庁舎で財政負担を低減、借金を増やさないこと。そういった検討はされたのですか。また、意見に対する回答はありますか。（ご指摘ありがとうございます。回答については、アンケートページに記載のとおり「今後の検討資料とするため、個別の回答はいたしかねます。」との旨を記載しております。ご了承ください。）	災害時の拠点

市庁舎整備についての意見募集でお寄せいただいたご意見です。（平成27年8月10日現在）

性別	年齢	現在と同じ場所で庁舎を新築した方がよいと思うか	その理由	市庁舎整備についてのご意見・ご提案（全文掲載ではありません。ご了承ください。）	市庁舎に求める機能
男性	70歳以上	思う	新たな用地取得の必要がないから	(現在の接客態度について良いとのご意見をいただきました。)	(現状のままでよい)
女性	40～49歳	どちらかといえば思う	駅に近いから	昔とは違い、パソコン中心の仕事になり、その為、配線が増えたり、コンセントを増設しなければならないことなど根本的にやり直さないといけないと思います。 また、保健センター（オアシス）が駅から遠く、乳児健診も車があれば楽なのですが、電車移動、または自転車移動の方には、駅からも遠く、坂道も大変だと思います。特に雨が降った時の健診は本当に大変です。 なので、駅前に保健センターも兼ね備えた庁舎を希望します。	災害時の拠点町会 自治会、市民団体等の活動拠点 子ども連れでも安心な待合スペースやロビー 誰もがストレス無く利用できる憩いの空間を備えた施設 民間施設や他の公共機関を集約した複合庁舎
男性	30～39歳	思わない	現在の財政状況では建設はできないから	立て替えたとして今後の人口予測を考慮し20年～30年後に柏原市を維持できずその設備に対する支出が回収できないとの判断に至る可能性が高いと判断できるのであれば他の市との合併等違う選択肢が必要と考える。 民間では、成長が見込めなくなった時点で他の会社との事業再編が一般的であり、柏原市の場合、この時点で市役所を建設するという選択肢はないと考える。	ワンストップの窓口
男性	70歳以上	思う	災害時に拠点となる施設が必要であるから	新庁舎建設により職員、市民の柏原市に対する、郷土意識高揚、事務の効率化が期待でき、巨大地震災害に近い将来発生することが予想されるなか、一日も早く現在地に建て替えることを希望します。	災害時の拠点 市民活動の発表や展示などの交流拠点 誰もがストレス無く利用できる憩いの空間を備えた施設 ワンストップの窓口 コンビニや銀行等、市民の利便性を高めた施設 セキュリティーの高い施設
男性	70歳以上	思う	市域のほぼ中心で市民の利用に公平感があるから	市役所の場所は、研究結果に加えて、利便性に富みかつ風光明媚で長年慣れ親しんだ、絶好の場所であると強く感じます。また、建設財源については、財源の確保として、市民病院の改革(天理市民病院方式か和泉市民病院方式の採用)により、現状の赤字補填額(約3億円/年)を建設財源へ転用することや、P F I方式を採用することも良いと思います。 要望として、極力費用を抑制すると記述していますが、取組の姿勢として「砂漠に10日間程置いたタオルを絞るぐらい知恵を出せば」必ず良い方策が得られるものと確信します。	災害時の拠点 誰もがストレス無く利用できる憩いの空間を備えた施設 ワンストップの窓口 民間施設や他の公共機関を集約した複合庁舎 コンビニや銀行等、市民の利便性を高めた施設 セキュリティーの高い施設 議会に参加しやすい傍聴席
男性	30～39歳	思う	庁舎が分散すると不便になるから	公共施設の建て替えの前提として、ファシリティマネジメントの考え方を導入して、公共施設白書を作成するべきであると考えます。今後も人口減少が進むと予測されることから、小中学校を含め、すべての公共施設の再編成が求められます。各施設の修繕維持費や改修費なども勘案して、今後10年間の再編成・修繕改修計画を策定するべきです。 再編成(新築)する場合は、P P Pを導入するべきであると考えます。P P Pの好事例として、岩手県紫波町「オガールプロジェクト」が挙げられます。紫波町では、駅前の再開発をP P Pで実施し、10の民間テナント(飲食・物販・医療・教育系)と、紫波町が運営する情報交流館(図書館・地域交流センター)で構成される『官民複合施設』であるオガールプラザを開業しています。 仮に公共施設だけで建て替える場合でも、国交省の大和川河川事務所や大阪府のハローワークなどと共同で入居し、市の負担を減らすべきだと考えます。	災害時の拠点 市民活動の発表や展示などの交流拠点 誰もがストレス無く利用できる憩いの空間を備えた施設 ワンストップの窓口 民間施設や他の公共機関を集約した複合庁舎 コンビニや銀行等、市民の利便性を高めた施設